

【東山台分区 第8次地区福祉計画】 計画期間：2015年度(H27)から2020年度(H32)までの6年間

(福祉目標) 『誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくりを目指して』

- (理 念)
- ・生涯にわたって安心して暮らせるふるさとづくり
  - ・一人ひとりがお互いを認め合い共に支え合う、心のかようまちづくり
  - ・地域社会の一員として、誰もが社会参加できる心優しいふれあいのまちづくり

(重点項目) ①社協活動の理解を進める

- …自治会との協働
- …仕事をしている若い人達と土日祝の地域イベントでのつながりづくり
- …理事会運営方法の変更

②気軽に集まれる居場所づくり

- …交流活動のリニューアル
- …個人やグループが行う居場所づくりの側面的支援・ネットワーク作り

③地域内の福祉ネットワーク作り

- …地区ネットワーク会議の開催検討

(計画内容)

取り組み視点	重点項目	具体的な活動内容
①社協活動の理解を進める	自治会との協働	・各自治会に出向いて地域課題や社協について意見交換
	仕事をしている若い人達と土日祝の地域イベントでのつながりづくり	・KIRAKIRAの積極実施 ・イベントから日常のつながりへと結びつける ・多様な人材によるイベント実施の方法を検討
	理事会運営方法の変更	・ワークショップを取り入れた協議の機会を増やす
②気軽に集まれる居場所づくり	交流活動のリニューアル	・おしゃべり茶ろん・てくてくクマさん・介護者のつどい(おせっ会)等交流活動の効果的な展開方法を検討する
	個人やグループが行う居場所づくりの側面的支援・ネットワーク作り	・地域内での居場所づくりをすすめる ⇒分区で行うだけではなく、個人・グループなどが行う活動を側面的に支援する ・居場所づくりの取り組みのネットワーク作り
③地域内の福祉ネットワーク作り	地区ネットワーク会議の開催検討	・福祉をテーマに地域団体、専門職がともに集まり、定期的に地域課題を話し合う場の開催を検討

【東山台分区 第8次地区福祉計画(H27年度～32年度) 各部会主な取り組み】

活動項目	具体的活動	第8次期間の取り組み	第7次計画期間の振り返り
高齢者福祉部会	高齢者福祉部会 ・「ふれあい昼食会」(月2回) ・研修 ・サマフェスおでんの店	<b>【大切にする視点】</b> ○“つながり”が“支え合い”になるように ○日常的な活動は元気な高齢者が頑張る <b>【具体的な取り組み】</b> ・参加対象者の見直しを検討 ・見守り視点の強化 ・配食活動の拡大 ・社協の組織的連携による活動展開	・スタッフが高齢化してきたが、作ることが元気でいられる“生きがい”になっている (お互いさまの支え合い活動) ・買い出しが大変(万代、マルハチ) ⇒男性ボランティアの力が必要
障害者福祉部会	・「つくしんぼの会」(月1回)による交流・意見交換等 ・サマフェス出店 ・研修	・ぼぼデイとの連携強化 ・小中学校特別支援学級への参加呼びかけ ・“たけのこくらぶ”との連携強化 ・北部地域の障害のある方との連携強化 ・北部地域住民同士の交流を広げる ・西宮市地域自立支援協議会「北部地域連絡会」との連携強化	・新たな参加者の呼びかけをどうするか ・北部障害者のつどい“たけのこくらぶ”との連携をどうするか
児童福祉部会	児童福祉部会 「てくてくクマさん」(月1回)	・活動内容・形態の検討(回数・場所など)	・スタッフが減少する一方、参加者が増えている ・主担当者が不在
調査広報部会	調査広報部会 「虹にむかって」(年6回)発行	・広報紙は、現状の発行を続ける ・活動への参加呼びかけ強化 ⇒活動広報チラシの積極的な発行	・広報紙の定期発行とともに、随時チラシポスターを作成
ボランティアセンター運営部会	ボランティアセンター運営部会 ・地区VCの開設(週5日) ・おしゃべり茶ろんの開催(月1回)	・コーディネーター・ボランティアの人材さがし ・サロンや講座の参加者を増やす工夫	・ポスターや広報紙で案内しても参加者が増えなかった